



J G Aコード

m

J A Nコード



JIS S 2146
J10315001

都市ガス・LPガス兼用

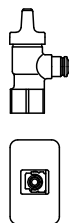
ガスコード

ガス栓とガス機器の接続に！！

1. 製品説明

正しい使い方、安全のための注意事項は裏面をご確認ください。

ガス栓



ガスコード

ガス機器

【ガス栓側ソケット】
ガス栓に接続します。
図の方向に回転します。

【機器側ソケット】
ガス機器に接続します。

ガスコードはガス栓とガス機器を接続するためのものです。
ガス栓側ソケットは回転しますので、状況によりガスコードに
負荷のかからない角度でご使用ください。

主な適用機器

- ファンヒーター 炊飯器 オープン（卓上）
衣類乾燥機 ストーブ 一口コンロ 等
- テーブルコンロ
（1m以下のガスコードをお使いください。）

ガス栓・ガス機器の接続口の形状によっては別売りの
部材が必要です。

切り取り線

ご使用前に必ずお読みください

この取扱説明書は大切に保管してください

都市ガス・L P ガス兼用ガスコード取扱説明書

この度はガスコードをお買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書（袋表面・裏面に記載）には、使用される方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するための重要な内容が記載されております。内容を理解したうえで、必ずお守りいただき正しく使用してください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

ガス種・長さ別ガス消費量のめやす

（単位 kW）

ガス種	長さ	0. 5m	1m	2m	3m	4m	5m	8m
都市ガス（13A） 及びLPガス		11. 2	10. 2	8. 57	7. 81	6. 94	6. 47	

注意）テーブルコンロには、長さ1m以下のガスコードをお使いください。

注意）ガス流量が不足するとガス機器の性能が十分に発揮されませんので、ガス機器に表示のガス種、ガス消費量をご確認の上、ガス機器に見合ったガスコードを選定ください。

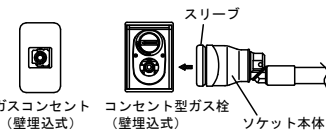
2. 正しい使い方

接続は、下記の手順で行ってください。
器具栓及びガス栓の閉栓確認→ガス機器側ソケットの接続→ガス栓側ソケットの接続→ガス栓開→器具栓開

ガス栓側ソケット

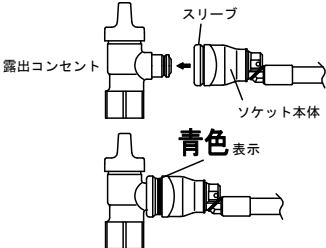
【コンセント型ガス栓（壁埋込式）の場合】

・ソケット本体を持ち、“カチッ”と音がして止まるまで、まっすぐいっばいに差し込んでください。
（スリーブがとび出します）



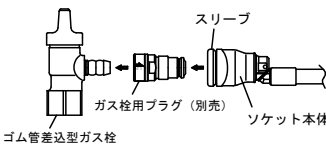
【露出コンセント型ガス栓の場合】

・ソケット本体を持ち“カチッ”と音がするまで、まっすぐ差し込んでください。
（スリーブがとび出します）
・スリーブの外周の青色を確認してください。
確実に接続されると、スリーブがとび出し、スリーブの外周に青い線が見えます。



注意）ゴム管差込型ガス栓の場合

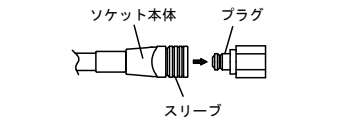
・別売のガス栓用プラグが必要になります。ガス栓用プラグはガス栓用プラグの取扱説明書に従い、ガス栓のゴム管口に取り付けてください。



ガス機器側ソケット

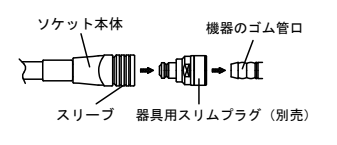
【プラグ型ガス機器の場合】

・ソケット本体を持ち“カチッ”と音がするまで、まっすぐ差し込んでください。
（スリーブがとび出します）



注意）ゴム管差込型ガス機器の場合

・別売の器具用スリムプラグが必要になります。器具用スリムプラグは器具用スリムプラグの取扱説明書に従い、ガス機器のゴム管口に取り付けてください。



接続方法

はずしかた

取りはずしは、下記の手順で行ってください。
器具栓の閉栓確認→ガス栓の閉栓確認→ガス栓側ソケットははずし→ガス機器側ソケットははずし

・器具栓とガス栓を閉めてください。

【コンセント型ガス栓（壁埋込式）の場合】

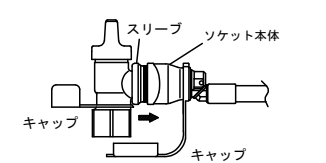
・コンセント型ガス栓の取扱説明書に従ってはずしてください。

・キャップを必ずはめてください。

【露出コンセント型ガス栓の場合】

・スリーブを矢印の方向に引張り、ガス栓側ソケットをはずしてください。

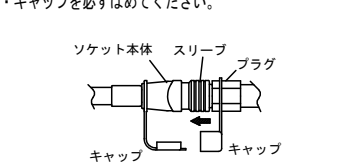
・キャップを必ずはめてください。



・器具栓とガス栓を閉めてください。

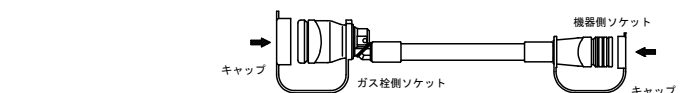
・スリーブを矢印の方向に引張り、ガス機器側ソケットをはずしてください。

・キャップを必ずはめてください。



ソケットがはずれない場合は、無理に力を加えず販売店またはご利用のガス会社にご連絡ください。

・使用しない場合は、ソケット内部に異物が入らないように両端ソケット部に付属のキャップをはめ、直射日光のあたる場所や高温になる場所を避けて保管してください。



ガス栓側ソケットには、回転のため若干のあそびがありますが、これは故障ではありません。

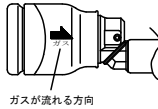
ガスコードの廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

3. 安全のために

危険

取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合。

①使用中にガス臭がする等の異常が感じられた場合は、ガス栓を閉じて接続状態と外観を点検する。再度接続しても異常が感じられる場合は、ただちに使用を中止してください。なお、ガス臭気があるときは火気には近づけないでください。原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、またはご利用のガス会社にご連絡ください。

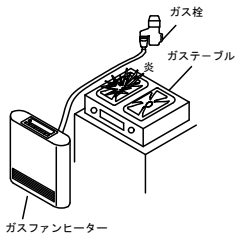


②ソケットに表示されている矢印の方向にガスが流れるように接続する。矢印方向と反対にガスが流れるとガス漏れの原因になります。

③この取扱説明書に記載の 2. 正しい使い方 を守りガス栓やガス機器へ確実に接続する。不完全な接続はガス漏れの原因になります。

④炎が直接触れる可能性がある場所、高温になる場所では絶対に使用しない。ガスコードが破損し、ガス漏れの原因になります。

⑤絶対に切断、改造しない。ガス漏れの原因になります。



警告

取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⑥適切な長さのガスコードを使用する。ガス機器への接触やガス機器の下を通すと高温部に触れたり、突起物に引っ掛かりガスコードが破損し、ガス漏れの原因になります。

⑦部屋を超えて使用しない。ドア等を閉めたときに、ガスコードが引っ張られたり折れ等が生じ、ガスの流量不足によりガス機器の立ち消えや、燃焼が悪化する原因になります。またガスコードの劣化を早める原因にもなります。

⑧天井裏、床下やあまり動かさない家具の後ろに設置しない。点検や取り替えができないため、隠ぺい部等を通さないでください。

⑨屋内に準じた条件で使用する。直射日光や風雨のあたる場所での使用は製品の劣化を早める原因になります。

⑩油脂、溶剤、洗剤等が付着する恐れがある場所で使用しない。ガスコードの劣化を早めガス漏れの原因になります。

⑪ソケットの先端や内部、ガス栓とガス機器の接続口は丁寧に清潔に取り扱う。ガスを安全に使用するために重要な部分であり、傷がついたり異物が付着するとガス漏れの原因になります。

⑫ソケット部には絶対に衝撃を与えない。割れが発生するとガス漏れの原因になります。

⑬ガス栓側ソケットの方向を変えるときは、回転方向以外へ無理な力を加えない。ガス漏れの原因になります。

⑭接続した状態でホースをねじったり、引っ張る等の力を加えない。ソケット部のガス漏れの原因になります。

⑮ガスコードを踏みつけたり、過度に曲げたりしない。ガスの流量不足によりガス機器の立ち消えや、燃焼が悪化する原因になります。またガスコードの劣化を早める原因にもなります。

⑯ガスコードはねじ足して使用しない。ガスの流量不足によりガス機器の立ち消えや、燃焼が悪化する原因になります。また、ガス漏れの原因になります。

⑰ソケット部に割れ、変形、サビやソケット部の先端や内部に傷が認められる場合は、ただちに取り替える。ガス漏れの原因となります。

⑱ガスコード外面にひび割れや切り傷、ふくれ等の異常が認められる場合は、ただちに取り替える。ガス漏れの原因になります。

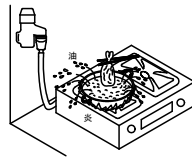
⑲ガス機器を取り替える際は新品のガスコードと取り替える。樹脂とゴムの複合製品であり時間と共に劣化します。外観上異常がなくてもガス機器を取り替える際、（またホースに表示の製造年月から7年を目安に）新品のガスコードと取り替えてください。

⑳熱や油がかかる可能性がある場所で使用する場合は早めに取り替える。ガスコードの劣化を早めガス漏れの原因になります。

㉑犬等のペットやネズミに注意する。かじると穴が開き、ガス漏れの原因になります。傷が認められたら、ただちに取り替えてください。

㉒お手入れ時には、異物が入らないよう注意し、洗剤を使用しない。異物はガス漏れの原因になり、洗剤は製品の劣化を早める原因になります。

㉓使用しないときは、付属のキャップが汚れていないことを確認した後、キャップをソケット部に装着する。ソケット内部に傷がついたり、異物が付着すると次回使用時にガス漏れの原因になります。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者などが傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が予想される場合。

㉔スリーブとソケット本体の隙間に異物を挟まないようにする。異物を隙間に挟み込んだ場合、ソケットが外れなくなる可能性がありますので注意してください。

㉕ガス栓の形状、ガス機器の接続部の形状を確認し、正しく接続する。誤って接続するとソケットが破損し、ガス漏れの原因となります。



製造元



光陽産業株式会社

〒142-0042 東京都品川区豊町4-20-14
TEL (03) 5702-1221 (代)